

風水害に備え、命を守る知識と行動を学ぼう

近年、全国で台風や豪雨などによる風水害が多発しています。被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災意識を高めておく必要があります。災害から自分や大切な人の命を守るために、普段からの備えや心構えを確認しましょう。

いざというときどう行動する？～災害時の行動プランを作ろう～

災害を「自分事」として捉えるため、いざというときに自分や家族が「いつ、何をするか」をまとめた「マイタイムライン」を作成しましょう

警戒レベル	警戒レベル1 災害への心構えを高める	警戒レベル2 自らの避難行動を確認	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	警戒レベル4 危険な場所から全員避難	警戒レベル5 緊急安全確保(市町が発令)
避難情報等			高齢者等避難(市町が発令)	避難指示(市町が発令)	
気象情報、災害情報等	早期注意情報(気象庁が発表)	大雨・洪水注意報(気象庁が発表)	・大雨・洪水警報 ・氾濫警戒情報 (国土省・気象庁・県が発表)	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 (国土省・気象庁・県が発表)	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報 (国土省・気象庁・県が発表)
例) 台風の状況	8月22日、台風○号が発生。栃木県には3日後の25日に接近、通過する見込み	8月24日、台風が接近し、雨が強まってきた	8月25日午前、さらに接近中。大雨・洪水警報が発令され、近くの川も水量が増えている	8月25日午後、台風が栃木県に最接近・通過中。土砂災害警戒情報が出され、近くの河川も氾濫したとの情報がテレビから分かった	災害が発生または切迫
マイタイムライン	我が家の備え 例) 父母、私、夫、息子、娘	・私(夫): 天気予報を確認 ・全員: 家族の今後の予定を確認 ・父母: 非常用持ち出し品、備蓄品を確認	・全員: 避難先・経路を再確認 ・全員: 河川の状況などの情報をホームページやテレビ等で確認	・父母私: 近くの避難所へ避難 ・夫: 息子、娘を学校に迎えに行く	・夫 息子 娘: 避難所へ避難

▽警戒レベル4までに、危険な場所から全員避難△

必ずこの順番で発表・発令されるとは限りません。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら避難を開始してください
警戒レベル3、4、5は、緊急速報メール(携帯会社が特定エリアに配信)や防災行政無線、テレビ・ラジオ等で伝達されます

持ち出す物を準備しよう 用意する物(例)

- 貴重品
 - 現金(小銭を多めに)
- 食品類
 - 水
 - 食品
- 医薬品等
 - 常備薬
 - マスク
 - 手指の消毒液
 - 体温計
- 生活用品
 - 懐中電灯
 - 着替え
 - 歯ブラシ
 - タオル
 - ウェットティッシュ
- 各家庭に必要なもの
 - 乳幼児の育児用品
 - 高齢者の介護用品
 - 生理用品 など

このほかに各家庭に必要なものを書いてみましょう

赤字は感染症感染防止のためにも必要です

ローリングストックに取り組みよう

日頃から食料や日用品などを少し多めに購入し、使った分を補充しながら日常的に備蓄することをローリングストックといいます。常に新しい食料を備蓄するので、いざというとき備蓄品の期限切れ防止になり、災害時も日常に近い食生活を送ることができます。



防災・災害情報を入手しよう

災害時は、正確な情報をいち早く入手しなければなりません。ここでは、災害時に活用できる情報の入手先をご紹介します。

- とちぎリアルタイム雨量河川水位観測情報: 県内河川のライブ映像や河川水位情報などを掲載
- 県危機管理・防災ポータルサイト: 防災・災害情報を掲載
- 県防災メール: 地震や気象情報をメールで配信
- テレビ・ラジオ: 地域の詳細情報はとちぎテレビ・栃木放送・エフエム栃木等が便利

県公式LINEを活用しよう

防災や災害時に役立つさまざまな情報を県公式LINEでまとめて入手できます。先月から新たに避難行動シミュレーションを追加しました。ぜひ活用ください。

- 各市町のハザードマップを確認できます
- New! 最寄りの避難所を探ることができます
- Twitter 県防災Twitterで防災に関する情報を配信しています
- LINEの友だち登録はこちら